Fukuoka Asian Art Museum Art Exchange Programs Annual Report 2011-2012

平成23年度 福岡アジア美術館交流事業報告書

福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

福岡アジア美術館交流事業

□招聘事業

本事業は、アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を一定期間招聘し、様々な美術交流事業を行うことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助となることを目指すとともに、アジア美術の活性化に寄与する。

□受入支援事業

本事業は、他の機関から助成等を受けて自費で福岡に滞在し、作品制作や調査研究活動を希望するアジアの美術作家やアジア美術の研究者・学芸員等を一定期間受け入れて、作品制作や調査・研究活動を支援することで、アジア美術の発展に寄与するとともに、福岡アジア美術館がアジア美術の交流拠点になることを目指す。

平成23年度文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業

平成23年度福岡アジア美術館交流事業報告

美術交流事業の被招聘者については公募を行い、14カ国・地域から55人（美術作家47人、研究者・学芸員8人）の応募があった。美術交流事業招聘者選考委員会で選考し、美術作家はジュピター・プラダン（ネパール）、ルー・ヤン／陸揚（中国）、グエン・フォン・リン（ベトナム）、研究者・学芸員はスブサン・サンワチラピバン（タイ）を招聘した。美術作家は最長70日、研究者・学芸員は最長42日、福岡に滞在し、様々な美術交流事業に取り組んだ。また、受入支援美術作家としてナー・ヨンエン（シンガポール）を、受入支援研究者としてセン・ユジン（シンガポール）、リン・ピンチュン／林品君（台湾）、チャン・イーシュアン／張奕琁（台湾）を受け入れた。

美術交流事業

招聘美術作家

ジュピター・プラダン（ネパール） …… 3
グエン・フォン・リン（ベトナム） …… 7
ルー・ヤン／陸揚（中国） …… 11

招聘研究者

スブサン・サンワチラピバン（タイ） …… 15

受入支援美術作家

ナー・ヨンエン（シンガポール） …… 17

受入支援研究者

セン・ユジン（シンガポール） …… 19
リン・ピンチュン／林品君（台湾） …… 20
チャン・イーシュアン／張奕琁（台湾） …… 21

招聘美術作家

ジュピター・プラダン／Jupiter Pradhan

1977年生まれ / ネパール、カトマンズ在住
滞在期間：2011年6月23日〜8月31日

主な活動

作品制作

ネパールと福岡の文化や祭りをテーマに、平面、立体、映像、陶など、さまざまな要素を融合させた作品「私！がいる場所」を制作した。

ワークショップ

7月26日　「体感アジア〜ネパールの神々をいろどる」
（ママと子どものアートじかん実行委員会主催）
参加者：親子10組（交流ギャラリー）

7月30日　「ミティラー画の制作」
参加者：大分市および豊後大野市の中学生15名（交流スタジオ）

8月22日　「ネパールの神様の仮面制作」
参加者：三筑中学校、東光中学校美術部19名（交流スタジオ）

トーク

6月25日　「アーティスト・トーク&キュレーター・トーク」
参加者：一般52人（交流スタジオ）
これまでの活動を紹介し、滞在中のプランについて説明した。

6月30日　「施設等を活用した体験学習」で訪れた小学生に制作中の作品について説明した。
参加者：福重小学校4年生78名（交流スタジオ）

7月7日　「施設等を活用した体験学習」で訪れた中学生に制作中の作品について説明した。
参加者：原北中学校１年生229人（交流スタジオ）

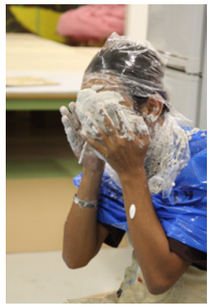
展覧会

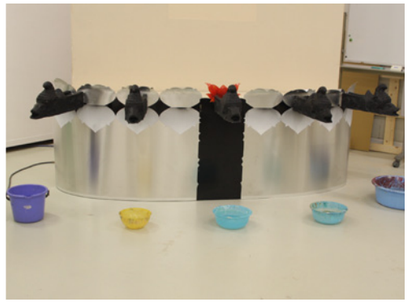
8月25日〜9月13日「第11回アーティスト・イン・レジデンスの成果展　パート1」
滞在制作作品「私！がいる場所」を7階ロビーに展示した。

パフォーマンス

8月25日　成果展のオープニングに作品の前でネパールの儀式にのっとったパフォーマンスをおこなった。
参加者：一般71名（7階ロビー）

作品制作





招聘美術作家
ジュピター・プラダン／Jupiter Pradhan

ワークショップ

(7/26)

(7/30)

(8/22)

トーク

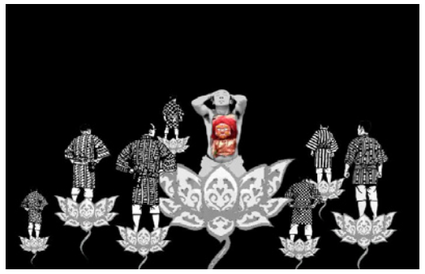
(6/25)

(6/30)

(7/7)

展覧会

「第11回アーティスト・イン・レジデンスの成果展　パート1」(8/25〜9/13)
「私！がいる場所」



(映像部分)

パフォーマンス

招聘美術作家

グエン・フォン・リン／Nguyen Phuong Linh（ベトナム）
1985年生まれ / ベトナム、ハノイ在住
滞在期間：2011年9月6日〜11月15日

主な活動

作品制作
福岡の地元の人々や場所を取材し、そこから採取したホコリと写真で構成したインスタレーション「ホコリ・プロジェクト」と、福岡県朝倉市で採れた石の粉を使った風景のインスタレーション「ストーンスケープ」を制作した。

ワークショップ
9月17日　「つたえて、つなげて」
参加者：朝倉市の高校生3名（交流スタジオ）
10月29日　「つたえて、つなげて」
参加者：古賀市立古賀東中学校美術部11名（交流スタジオ）

トーク
9月18日　「滞在者によるトーク」
これまでの活動を紹介し、滞在中のプランについて説明した。
参加者：一般51名（交流スタジオ）
11月12日　「第11回アーティスト・イン・レジデンスの成果展　パート2」の関連イベントとして、滞在制作作品について語った。
参加者：一般55人（交流ギャラリー）

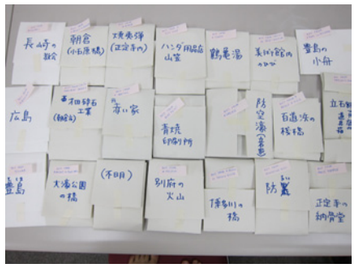
トーク&パネルディスカッション
11月7日　春日北中学校3年生と「自然と科学」をテーマにパネルディスカッションをおこなった。
参加者：春日市立春日北中学校3年生127名（春日市立春日北中学校）

地域交流イベント
10月22日　「博多リバレイン灯明」
（博多リバレイン・フェスタスクエア、アトリウムガーデン）

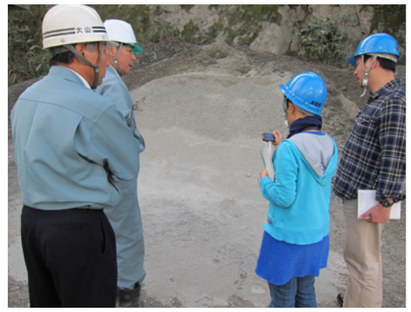
展覧会
11月12日〜27日　「第11回アーティスト・イン・レジデンスの成果展　パート2」
（交流ギャラリー）

作品制作

「ホコリ・プロジェクト」



「ストーンスケープ」



招聘美術作家
グエン・フォン・リン／Nguyen Phuong Linh

ワークショップ

(9/17)

(10/29)

トーク

(9/18)

(11/12)

トーク&パネルディスカッション

(11/7)

地域交流イベント

(10/22)

展覧会

「第11回アーティスト・イン・レジデンスの成果展　パート2」(11/12〜27)

「ストーンスケープ」

「ホコリ・プロジェクト」

招聘美術作家

ルー・ヤン／陸揚／Lu Yang

1984年生まれ / 中国、上海在住
滞在期間：2011年9月7日〜11月15日

主な活動

作品制作

福岡の生物学や音響の専門家、彫刻家とコラボレーションし、カエルの座骨神経に電流を流し、音楽に合わせて水中でカエルが踊る映像作品「復活！水中カエルゾンビバレエ」を制作した。

ワークショップ

10月14日 「LEDでアクセサリーを作ろう！」
参加者：有田小学校3年生100名（彫刻ラウンジ）

10月26日 「LEDでアクセサリーを作ろう！」
参加者：生の松原特別支援学校中学部37名
（生の松原特別支援学校）
（とびだせ！アジア美術館事業）

トーク

9月18日 「滞在者によるトーク」
これまでの活動を紹介し、滞在中のプランについて説明した。
参加者：一般51名（交流スタジオ）

11月12日 「第11回アーティスト・イン・レジデンスの成果展　パート2」の関連イベントとして、滞在制作作品について語った。
参加者：一般55人（交流ギャラリー）

トーク＆パネルディスカッション

11月7日 春日北中学校3年生と「自然と科学」をテーマにパネルディスカッションをおこなった。
参加者：春日市立春日北中学校3年生127名（春日市立春日北中学校）

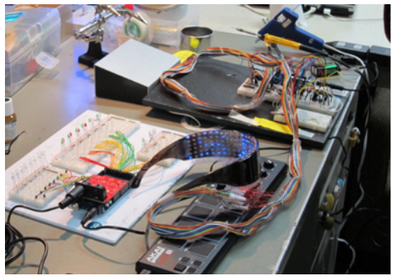
地域交流イベント

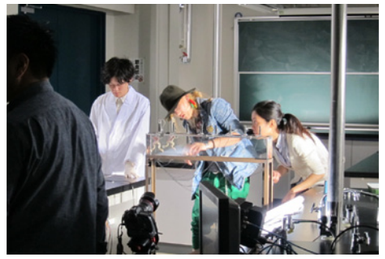
10月22日 「博多リバレイン灯明」
博多リバレインが毎秋開催している「博多リバレイン灯明」で、ホテルオークラ福岡の外壁面にコンピュータグラフィックスの作品を投影した。（ホテルオークラ福岡の外壁面）

展覧会

11月12日〜27日 「第11回アーティスト・イン・レジデンスの成果展　パート2」
（交流ギャラリー）

作品制作





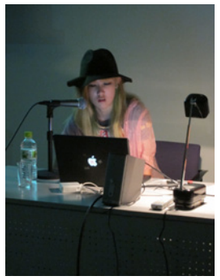
ワークショップ

（10/14）

招聘美術作家
ルー・ヤン／陸揚／Lu Yang（中国）

トーク

(9/18)



(11/12)

トーク＆パネルディスカッション

(11/7)

地域交流イベント

(10/22)

展覧会

「第11回アーティスト・イン・レジデンスの成果展　パート2」(11/12〜27)
「復活！水中カエルゾンビバレエ」

（映像部分）

招聘研究者・学芸員

スブサン・サンワチラピバン／Suebsang Sangwachirapiba

1980年生まれ / タイ、バンコク在住
滞在期間：2012年2月20日〜3月27日

主な活動

調査・研究

当館が所蔵する映像資料等に基づき，東南アジアの映像作家たちの作品を研究した。また、当館の事業や現代美術における障がいのイメージについても調査した。

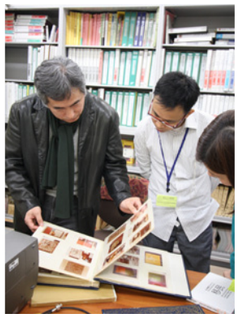
トーク

3月2日　「タイの暮らしと文化について」
参加者：大名小学校、舞鶴小学校、簀の子小学校3年生68人
（あじびホール）

美術講座

3月25日　「あじび美術講座2012　東南アジアのメディア・アート」
参加者：一般35人（あじびホール）

調査・研究



トーク

（3/2）

美術講座

（3/25）

受入支援美術作家

ナー・ヨンエン／Nah Yong En

1986年生まれ/ シンガポール在住
滞在期間：2011年11月8日〜12月10日

主な活動

2011年に開催された「第30回大華銀行全国絵画展」のプラチナ賞受賞者で、同展の助成を受けて来日。

作品制作

福岡の様々な場所の光とリズムに焦点をあてた、写真作品3点（21枚）、絵画5点を制作した。

トーク

12月8日　「ナー・ヨンエン滞在制作展」ギャラリー・トーク
参加者：一般 19 人（7 階ロビー、ラウンジ M8）

展覧会

12月8日〜25日　「ナー・ヨンエン滞在制作展　どこかへ、もっとどこかへ」
（7階ロビー、ラウンジM8）

作品制作

トーク

(12/8)

展覧会

「ナー・ヨンエン滞在制作展　どこかへ、もっとどこかへ」
(12/8~25)

受入支援研究者

センユジン／Seng Yu Jin

1979年生まれ / シンガポール在住
滞在期間：2011年6月16日〜8月9日

主な活動

国際交流基金「JENESYS Programme: 東アジアクリエーター招へいプログラム」で来日。当館の展覧会事業等について調査・研究した。

トーク

6月25日　「アーティスト・トーク&キュレーター・トーク@福岡アジア美術館」
参加者：一般52人（交流スタジオ）

コロキウム

7月30日　「インドネシア美術の20世紀―“麗しの東インド”を越えて」
（第27回アジア近代美術研究会）
参加者：一般43人（あじびホール）

トーク

(6/25)

コロキウム

(7/30)

受入支援研究者

リン・ピンチュン（林品君）／Lin Pin-Chun

1977年生まれ / 台湾、台北在住
滞在期間：2011年9月1日〜11月18日

主な活動

台湾現代芸術基金会からの助成で来日。アートスペースの企画運営や九州地域の芸術活動について調査・研究を行うほか「まちなかアートギャラリー福岡」の運営補助を行った。

トーク

9月18日　「滞在者によるトーク〜これまでの活動と福岡での予定」
参加者：一般42人（交流スタジオ）
11月12日「日常美術館〜福岡滞在『街とアート』観察ノート」ギャラリー・トーク
参加者：一般42人（ラウンジM8）

展覧会

11月12日〜 27日　「日常美術館〜福岡滞在『街とアート』観察ノート」
（ラウンジM8）

トーク

(9/18)

(11/12)

展覧会

「日常美術館〜福岡滞在『街とアート』観察ノート」（11/12〜27）

受入支援研究者

チャン・イーシュアン（張奕璇）／Chang Yi-Hsuan

1986年生まれ/ 台湾、台北在住
滞在期間：2011年9月2日〜11月30日

主な活動

台湾現代芸術基金会からの助成で来日。当館の招聘事業、展覧会事業等について研修した。

トーク

10月28日　「台湾の暮らしと切り絵」
　　参加者：当仁小学校2年生98人（あじびホール）
11月17日　「台湾の暮らしと切り絵」
　　参加者：香住ヶ丘小学校5年生132人（あじびホール）

トーク

(10/28)

(11/17)